



1989年式	担当：ナバ	No.002
--------	-------	--------

Volkswagen Golf Ci

ひょんなことから手に入れたゴルフⅡ。少しずつ世話しながら楽しもうと、水&燃料計のメンテが終わった。そして電気系に着手。次はホイール、オーディオ、空調、最後はボディかな？

文&撮影：三宅康朗
取材協力：永井電子 TEL：044-877-2441
URL：http://www.nagaidenshi.co.jp/

電気系強化!

アースシステムの構築なり!

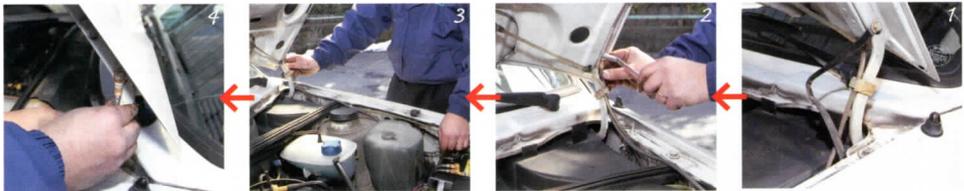
バブルへGO! LF!

その6

アースって?

アースシステムの構築とは、一般的にバッテリーのマイナス極と各電装部品間を電気抵抗率のより低い電線で直接接続する改修を言う。各配線が傷んだり、元々抵抗値の高い配線を組んでいる旧車の電気のメンテナンスとして、高い効果が期待できる。そこで、ゴルフにもULTRA社製のボンネットアース&パワーアースを取り付けてみました。

Start

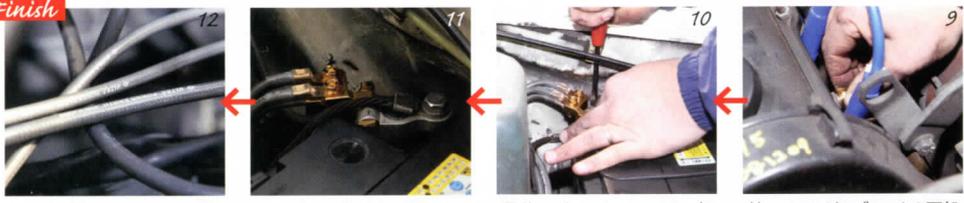


1 まずはボンネット側にボンネットアースを取り付けます。可動部分なので慎重にやりましょう。
2 ヒンジのナットを1つ外し、古いアースを取り除きます。絶対にナットを2つ外してはいけません。
3 エンジンルーム内にボンネットアースを這わせて、取り付け完成図をイメージしておきます。
4 まずはボンネットアースから交換。どうやら前オーナーがつけた細いアース線が付いています。



5 まずはエンジンブロックの上の部分に取り付けました。どうです、なかなかカッコイイでしょ？
6 続いてパワーアースです。エンジンブロック上下、オルタ、ボディーの4カ所に取り付けます。
7 狭くてかなり手が入りにくいところだったので、なんとか取り付けることができました。
8 今回はエジエター予備タンクの部分にサービスホールがあったので、そこを使うことにしました。

Finish



9 続いてエンジンブロックの下部、オルタネーター周辺、ボディと4カ所に取り付けます。
10 最後にバッテリーのマイナス部分とつなぎます。端子はターナーが切っただけなので上下に注意。
11 どうです？ バッテリー周辺のスペースとの関係上端子の位置が逆さまになってしまいました。
12 永井電子のアースラインは耐熱性の特殊ゴムでコーティングされているので、耐久性が高い!



今回アースの役割と設置方法についてご教授いただいたのは永井電子の技術部に所属する保坂栄寿さん。アースについておもしろおかしく教えて下さいました。



今回使用したのは、永井電子のボンネットアース(80cm/4725円、他に1m、1.2m、1.5mあり)とパワーアース(2万3100円)のふたつです。

電気系強化、パート2 今月はアースシステム

先月号からの続きで、電気系の強化パート2をお届けします。先月はプラグコード&プラグのグレードアップ、そして今月はアースシステムの構築です。アースシステムの構築は、先月同様クルマ関係の電気系強化と言えはココ、の永井電子さんで行ないました。作業はボンネットアースとパワーアースの2つの作業からなります。詳しい作業内容は上を見てもらうとして、注意点を少し挙げましょう。

ボンネットアースを取り付ける際に、ボンネットのヒンジ部分のボルトを外します。普通、ヒンジ部分にはボルトが2つ付いています。これを絶対2つ外さないで下さい。2つ外すとボンネットの取り付け位置がずれてしまい、位置調整を直すのが非常に大変だからです。また、作業は完全にエンジンルームが冷めた状態で行って下さい。熱いままではヤケドなどの原因になります。

最後に、配線したアースラインは、ちゃんとまとめて周りに干渉しないようにしてください。特にファンなどの回転物には絶対に。巻き込むと大きなトラブルに繋がる可能性があります。

以上の点に注意すれば、それほど難しい作業ではありません。

装着後のインプレッションですが、明らかに変化があったものは5つ。まずエンジン始動時のクラッキングが驚くほど短くなりました。以前はウィウィウィ、ブルンって感じでしたが、今ではウィブルンって感じです。次はアイドリング時のエンジン回転数が1000〜2000回転ほど下がったこと。3つめはカーステレオ。明らかに音が良くなりました。4つ目は回転感覚。滑らかになりました。ATで燃費運転ばかりなのであまり恩恵を受けておりませんが、最後にヘッドライト。すっごく暗かったのですが、少し明るくなりました。嬉しいねえ。